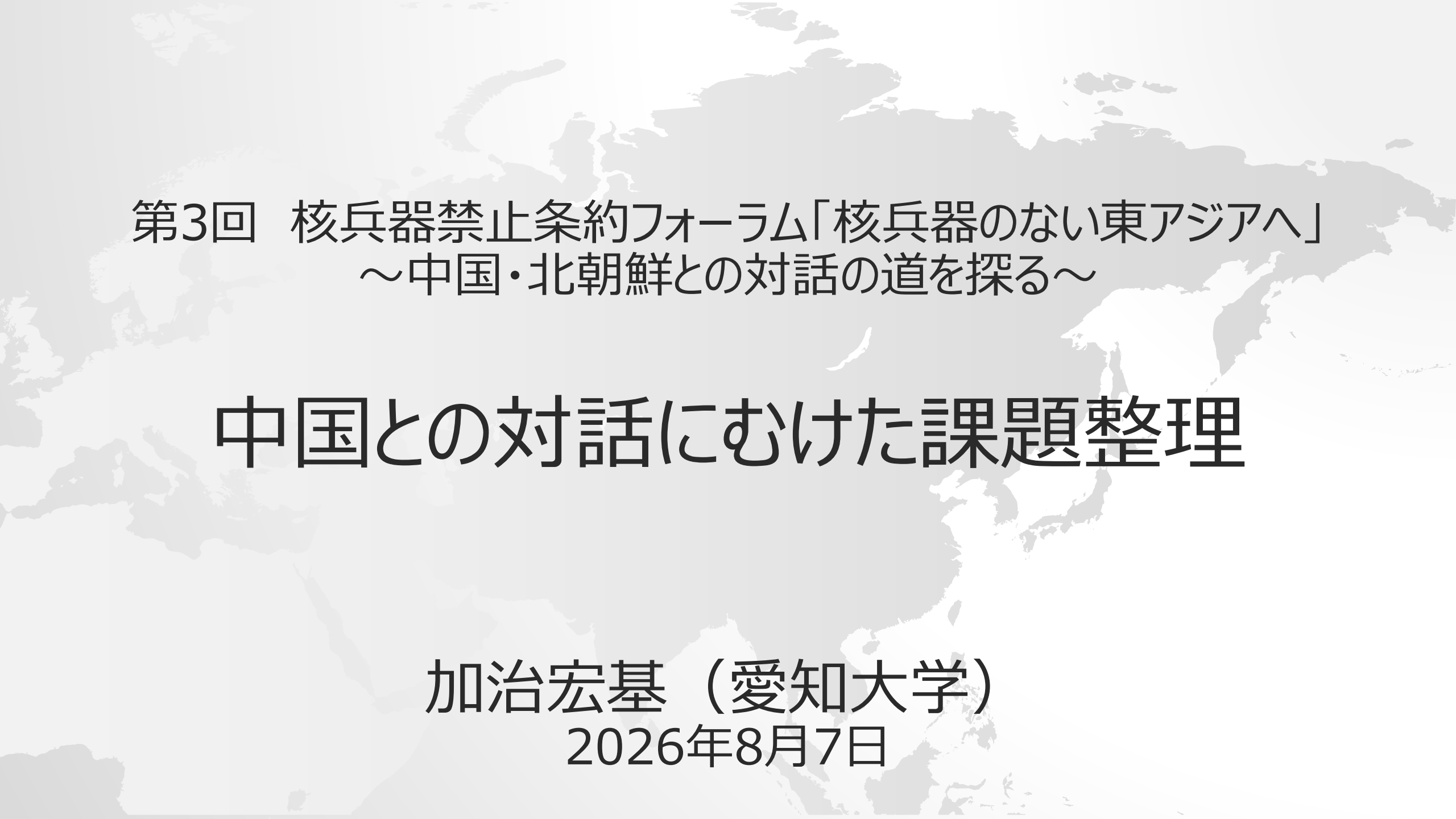




第3回 核兵器禁止条約フォーラム「核兵器のない東アジアへ」
～中国・北朝鮮との対話の道を探る～

中国との対話にむけた課題整理

加治宏基（愛知大学）
2026年8月7日

「中国との対話の道を探る」前提①

建国100周年までに世界一流の軍隊建設（宇宙、サイバー等を含む）

	中国	米国
1989	1	30
2025	1	3
	3355億2400万ドル	9543億8700万ドル
戦闘機第5世代	230	848（うちインド太平洋軍に156）
同第4世代	1626	1955（同187）
爆撃機	219	0
空母	3（福建が2025年11月に就役）	11（同1）
攻撃型潜水艦	59	51（同16）
戦略原潜	4	14
中距離弾ミサイル	1800	INF全廃条約に準拠
大陸間弾道ミサイル	6	14
核弾頭	620	3700

「中国との対話の道を探る」前提②

武力行使の選択肢

中国政府「国家主権と安全保障上の国益に関しては、あらゆる必要な措置を講じる」

高まる米欧の警戒

中国の歴史的な軍事増強が米国本土の脆弱性を高めており、同国の核兵器、海洋軍事やサイバー・宇宙領域での能力は米国の安全保障にとって直接の脅威となっている。

特に2025年以降

中国：世界は「平和」「発展」から「戦争」「動乱」へと転換したと認識している、との指摘も…。 cf. 国際形成与中国外交討論会や「出入国管理に関する国務院規定」

米国：同時多発的紛争とCRINK (China, Russia, Iran, and North Korea)

例えば、中国外交部「外交部發言人就美日領導人聯合聲明涉華消極內容記者問」2021 年4 月17 日

U. S. Department of Defense, *2025 Annual Report to Congress: Military and Security Developments Involving the People's Republic of China*, U. S. Department of Defense, 2025, p. 8.

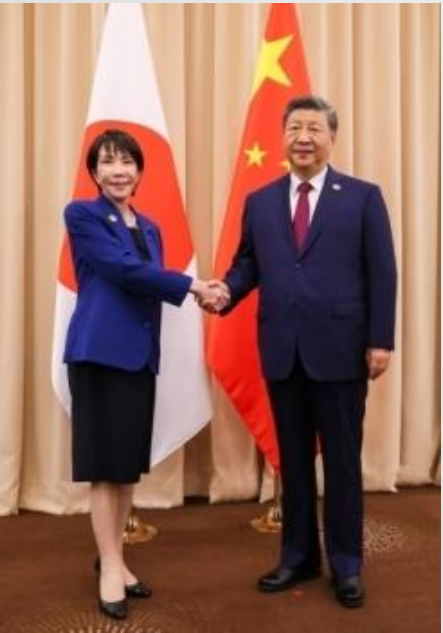
CSIS, <https://www.csis.org/special-initiatives/CRINK-Axis>



パラレルな日中首脳会談（2025年10月31日）

日本外務省

両首脳は、「**戦略的互惠関係**」を包括的に推進し、「**建設的かつ安定的な関係**」を構築するという日中関係の大きな方向性を改めて確認しました。

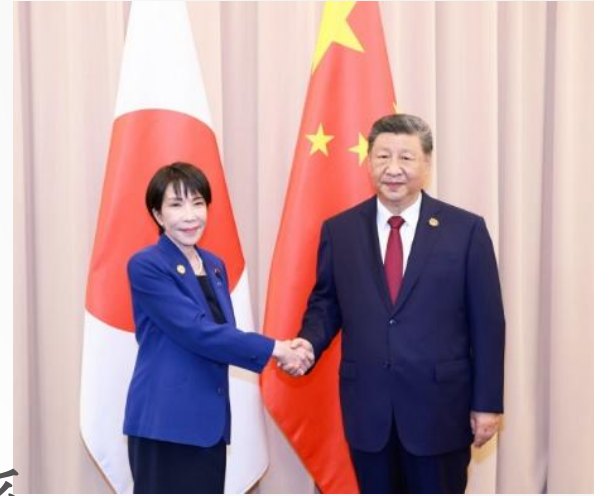


高市総理大臣から、**台湾海峡**の平和と安定の我が国を含む国際社会にとっての重要性を強調しました。

（写真提供：内閣広報室）

中国外交部

中方愿同日方一道，按照中日四个政治文件确立的原则和方向，维护双边关系政治基础，推进**战略互惠关系**，致力于构建契合新时代要求的**建设性、稳定的中日关系**。



中国外交部 2025年10月31日

习近平强调，…略…。恪守和履行中日四个政治文件就**历史、台湾等重大原则问题**作出的明确规定，确保中日关系根基不受损、不动摇。高市早苗表示，…略…。在**台湾问题**上，日本将坚持1972年日中联合声明中的立场。

外交的修辞にみる概念のギャップ

例「建設的かつ安定的な関係」と「戦略的互惠関係」

日本

「安全保障や経済安全保障など懸案や課題があるからこそ」首脳間での**率直的な意見交換**を通じて、「それらを減らし、理解と協力を増やし、具体的な成果を出していく」関係であり、「日中間の幅広い分野での**重層的な意思疎通**を行」い、「地域と国際社会の平和と繁栄という重責を果たしていく」

中国

一是恪守重要共识。把“全面推进战略互惠关系”、“互为合作伙伴、**互不构成威胁**”、“**以史为鉴**、面向未来”等政治共识落到实处。

二是坚持合作共赢。

三是促进民心相通。

四是加强多边协作。

五是妥善管控分歧。着眼大局、**求同存异**、聚同化异，避免让矛盾分歧定义两国关系。

高市的外交にみる認識のズレ

2025年11月1日 アジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議に出席した高市首相は、台湾代表の林信義・総統府資政／元行政院副院長（副首相）と挨拶を交わし、Xに投稿した。

年11月7日（衆議院予算委員会）
岡田克也（立憲民主党）元幹事長「どういう場合に存立危機事態になるか」

高市首相「個別具体的な状況に応じ、全ての情報を総合して判断する」

その後、改めて台湾有事を念頭に「戦艦を使って武力の行使を伴うのであれば、これはどう考えても存立危機事態になりうるケースであると私は考えます。」

Q. レッドラインは何だったのか？



1972年9月29日 日中共同声明



- 一 日本国と中華人民共和国との間のこれまでの不正常な状態は、この共同声明が発出される日に終了する。
- 二 日本国政府は、**中華人民共和国政府が中国の唯一の合法政府**であることを承認する。
- 三 中華人民共和国政府は、**台湾が中華人民共和国の領土の不可分の一部**であることを重ねて表明する。日本国政府は、この中華人民共和国政府の立場を**十分理解し、尊重し**、ポツダム宣言第八項に基づく立場を堅持する。

中国による常態化1.0

2010年9月 尖閣諸島沖中国漁船衝突事件



2012年6月 南沙諸島、西沙諸島および中沙諸島を管轄する海南省三沙市を設置

同年9月 日本政府（野田佳彦内閣）が尖閣諸島の3島を国有化

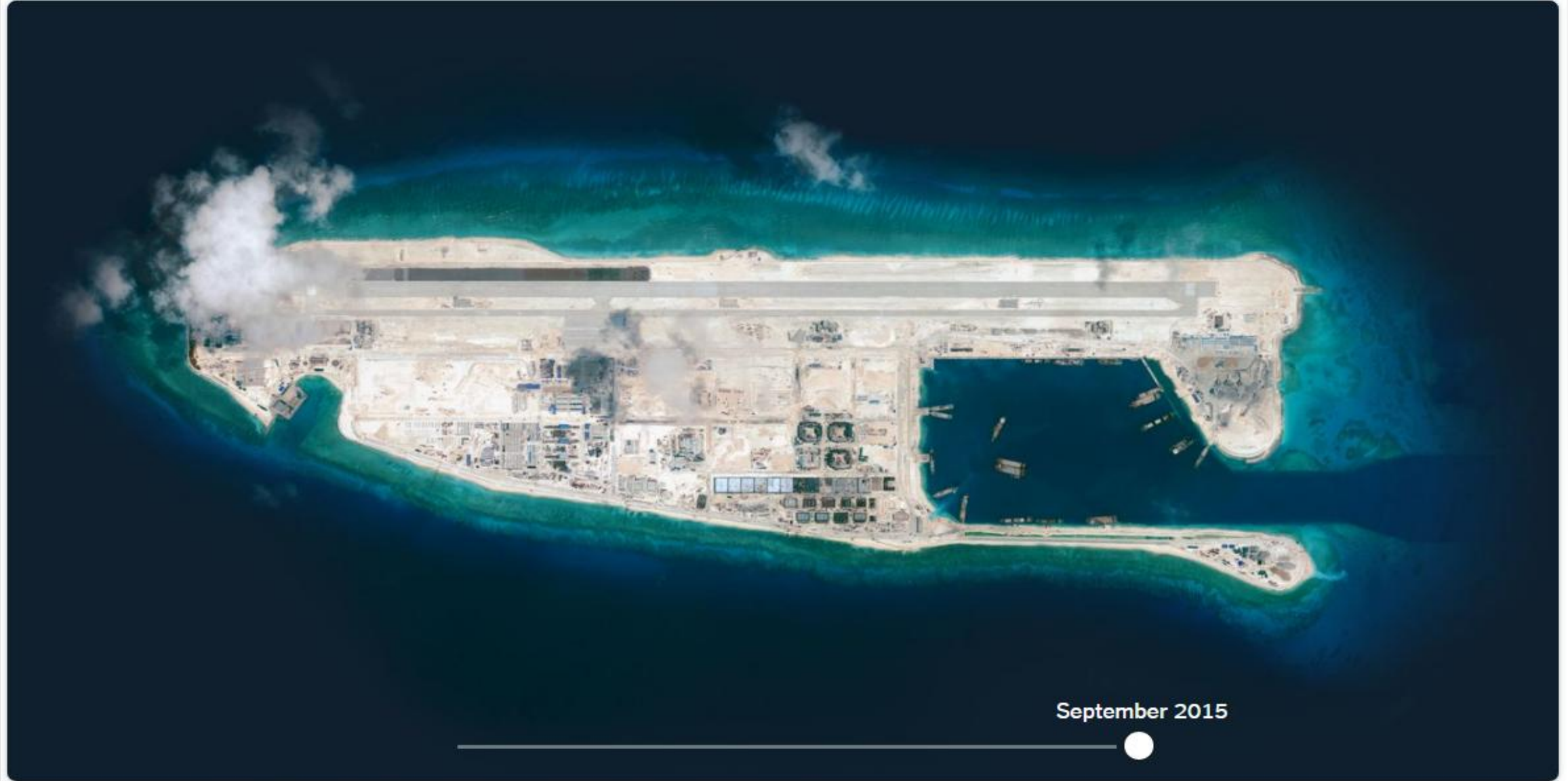


中国国務院新聞弁公室『釣魚島是中国的固有領土』を発行

[百科](#) [文库](#) [hao123](#) | [更多>>](#)

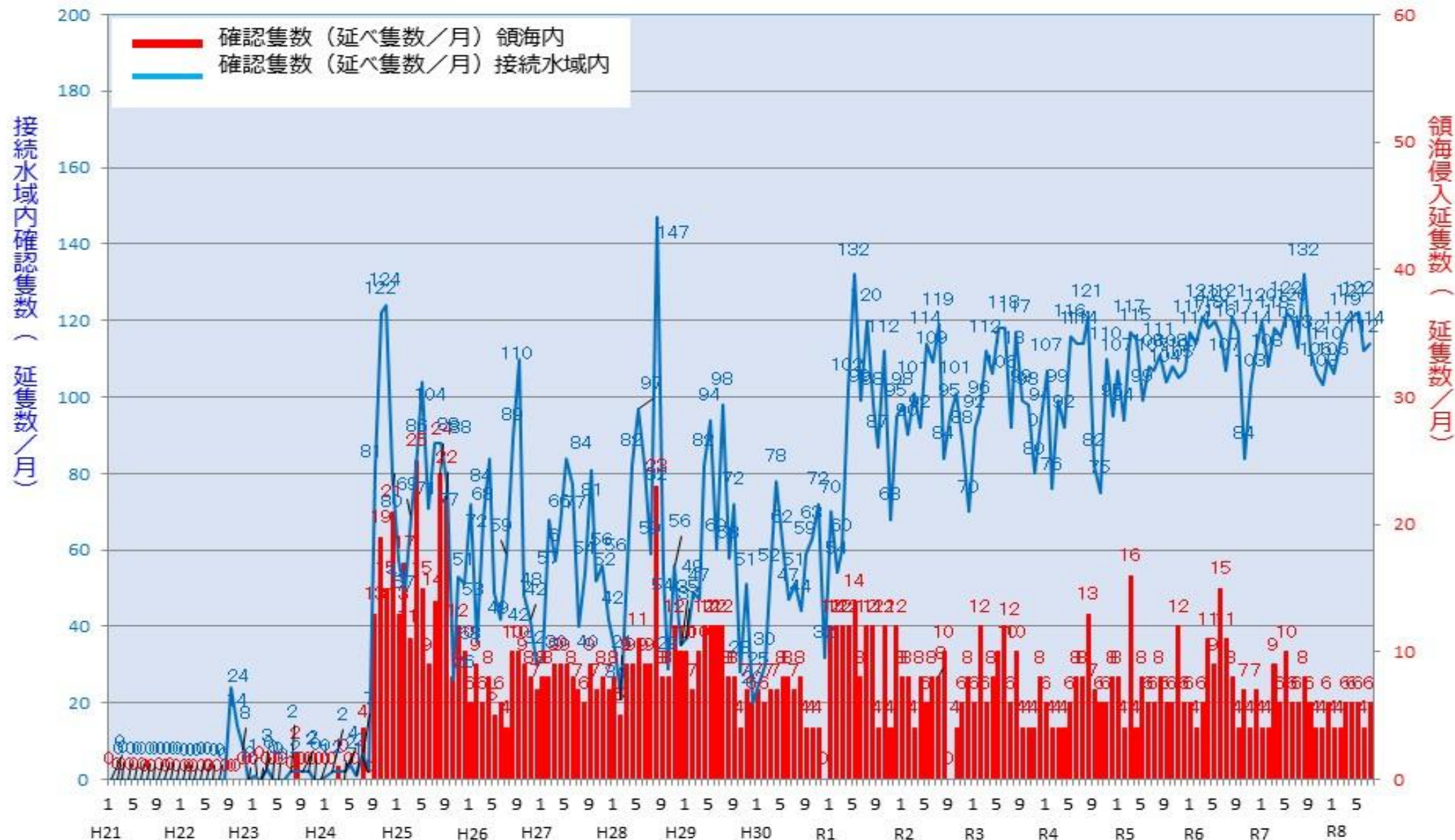
同年11月 第18回中国共産党全国代表大会（党大会）
政治報告で「海洋強国」建設を宣言





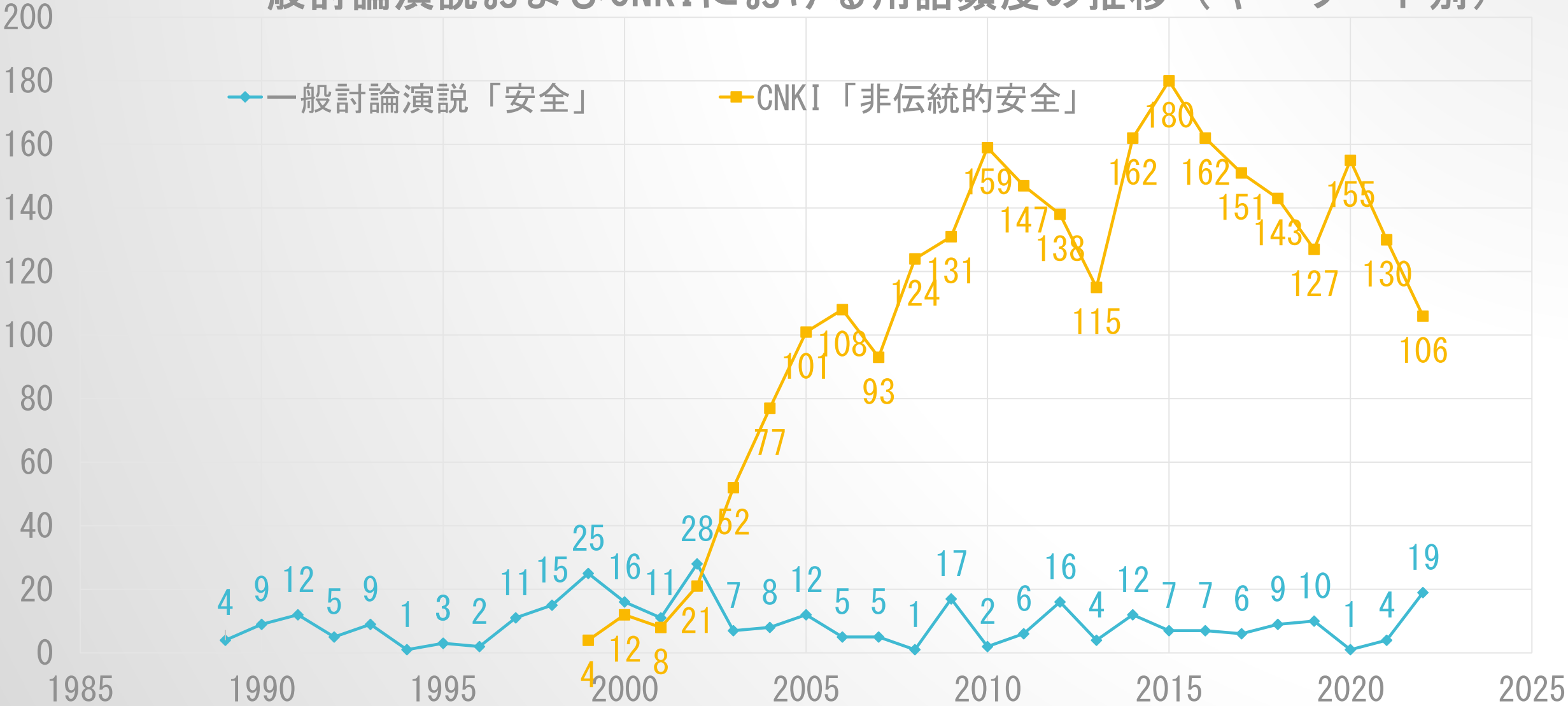
Images by DigitalGlobe, via the CSIS Asia Maritime Transparency Initiative, and CNES, via Airbus DS and IHS Jane's

What China Has Been Building in the South China Sea



中国との対話の道を探る

一般討論演説およびCNKIにおける用語頻度の推移（キーワード別）



中国の安全保障と国際秩序をめぐる矛盾：常態化2.0へ？

中国と北朝鮮にとって、核開発・保有は「平和」「安全」の条件
北朝鮮の対中安全保障と六カ国協議（2003年8月-2007年3月）失敗の教訓
cf. 2017年5月4日『労働新聞』「核開発は生存問題」と中国批判

それ以来、2024年5月 第9回日中韓サミット共同宣言で「朝鮮半島非核化」

他方、口朝の蜜月関係をうけ、北朝鮮への妥協的協調
2026年6月 習近平国家主席は、「中朝友好協力相互援助条約」締結65周年のため
約7年ぶりに訪朝
習近平国家主席から「外交、法執行、軍隊などの交流を強化すべきだ」と提起

CRINKの「血で固めた友誼」の再提起

国際秩序の再編としての「中華民族の偉大な復興」と
中国の安全保障認識「遠心性から求心性へ」の矛盾

